

令和2年度本学卒業（研修医）

評価項目	5:極めて優れている	4:標準以上	3:標準	2:やや劣る	1:劣る
1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナルリズム その時代における克己殉公の精神のあり方を自らの文脈の中で理解し、医療の専門家としての自覚と倫理観に基づいて行動することができる。（克己殉公の精神のもとに、日々自身の能力向上に努め・意欲的に自己研修を行っている。）（※克己殉公・・・我が身を捨てて、広く人々のために尽くす）	2	12	29	1	1
2. コミュニケーション能力 多様な立場や考え方を理解し、尊重し、共感力をもって他者と接するコミュニケーション能力を持ち、医療の現場における良好な人間関係を構築することができる。					
2-1. 患者やその家族とのコミュニケーション	5	13	24	2	1
2-2. 医療スタッフとの関係・コミュニケーション	3	11	29	1	1
2-3. 上級医との意思疎通・コミュニケーション	4	7	31	2	1
3. 統合された医学知識 基礎科学、基礎医学、行動科学、臨床医学、社会医学の知識をもち、統合した形で問題解決に応用することができる。	1	9	28	5	2
4. 患者の問題解決 （疾病の構造を理解し、社会医学や予防医学の視点を加え、患者の問題解決を考察できる）	1	10	29	2	2
5. 実践的診療能力 患者中心の視点に立ち、臨床研修現場において適切な診療を行う能力を獲得することができる。（身体診察や面接能力を含みます。）	2	7	29	5	2
6. 診療録記載	1	9	30	4	1
7. チーム医療における多職種との連携 （カンファレンス等のプレゼンテーション能力を含みます。）	1	10	27	4	3
8. 科学的探究心と思考能力 医学の進歩に関心をもち、科学的探究心を維持し、問題に対して論理的、批判的思考をもって行動することができる。	1	11	27	4	2
9. 人々の健康の維持、増進を通じた社会貢献 社会の現状を認識し、医療人の立場から人々が健やかに暮らせる社会の構築に努めることができる。（国民の健康に係わる情報収集、社会医療制度等の理解、地域医療等における社会貢献などについてお伺いします。）	1	7	31	5	1
10. 次世代の育成、教育能力 大学の教育、研究、医療における理念を次世代に受け継いで行く使命を認識し、チームにおけるリーダーシップを発揮しつつ後進の指導を行うことができる。	1	9	24	9	2
11. 豊かな人間性と国際性 人類と生命に対する「愛」を内包する豊かな人間性をもち、日本のアイデンティティを尊重しながら、広く世界に目を向け行動することができる。	2	6	28	7	2
12. 総合的臨床能力 1～11までの総合的な評価をお願いします。	2	8	30	4	1

【現在の臨床研修についてコメントがあれば記載をお願いします。】

【学内で研修したコメント】

- ・研修医向けのレクチャーを増やしてほしい。
- ・処方等上級医の承認が必要な項目が多く、結果として最初から上級医が行い研修医が行える業務の幅が狭まるタイミングがあります。
- ・外勤や外来等の影響で病棟にグループの医師が研修医しかいないという状況が度々起きており、研修という観点からは指導医不在の状況が続くのかあまり望ましくありません。
- ・非常に素晴らしい研修環境で満足しております。特に臨床研修センターの職員の方々が非常に優秀で助かっております。
- ・カリキュラムが不明瞭で、行き当たりばったりのように感じる。研修内定時もしくは入職時に、研修修了までのカリキュラムや必須要件を明示して欲しかった。研修2年目になって急に必修の診療科が増えたことにも驚いた。十分な説明や正式な文書での発表もなく、突然メールで知らされたのみで、これは事実なのか、大学の正式決定なのかというところから疑った。きちんと計画性をもって、主体的に取り組める研修にすべきだと感じる。
- ・EPOC2の経験すべき疾患は再検討いただきたい。症例を全て揃え切るのが難しい。例えば胃癌など今どき消化器内科or外科で研修しない限り出会わない。また、皮膚科や精神科に進む医師が胃癌症例を経験する必要なんかないだろう。Joslerのレポートのように、経験すべき疾患群のうち何例かをレポートとして提出するというように改善すべきと考える。
- ・関連病院とのタスキとかあると人気出るかもしれません
- ・指導医の先生方が丁寧にご指導くださり、有意義な研修が出来ていると思う。
- ・ローテーションの変更の期限を緩和していただきたいです。
- ・今の環境に不満はありません。しかし、本年度より分院には新規図書が入らないのは残念です。
- ・ローテート変更などフレキシブルに対応頂けて感謝しております。
- ・今年度当直のシステムが急に変更されたり、当初はそのシステムに柔軟性がなかったりなど、少々トップダウンすぎる部分もあるように思えた。

【学外で研修したコメント】

- ・大変充実した日々を過ごしております。
- ・研修する施設によって研修内容や目標等が異なるので、施設を選ぶのは需要だと思った。
- ・日赤神
- ・上記の回答にも関連するが学生指導を行なう人的、時間的余裕がない
- ・研修医と学生がともに行動する機会がほとんどないと感じております。
- ・科によって学生教育への力の入れように差がある点。
- ・日本医大は、入学から卒業まで、何も考えずに言われたことだけこなしていれば周りがどうにかしてくれるシステムで、高校の延長のような感じた。それは研修医になっても同じで、指示があるまで待つ、言われていないことはやらないというスタンスの研修医が多いと感じる。
- ・CBT対策はコース講義で、国家試験は予備校に任せるという今の方針で良いと思う。医者になって必要なことは医者になってから学ぶので良い。
- ・1-2次救急の初療対応
- ・学生のプレゼンやレポート、スライド発表などの機会も多く、学生のうちから慣れることが出来て良いと思う。
- ・2年間の臨床研修は、自分にとっては長く感じました。（後期研修の進路が早期に決まっていたので）
- ・初歩的な内容でも質問がしやすい環境は大切であったと思います。どの本にも書かれていないが、医療者にとっては常識のような略語などもあるので。

【臨床研修を始めてみて、特に本学の学生教育に関して、良いところ、不足している内容などありましたらお書きください。】

【学内で研修したコメント】

- ・良いところ：つながりが密
- ・不足：学術的、学問的指導
- ・コロナ等の影響もあり部活やアドバイザー制度が制限されるようになった学年あたりから、臨床研修中の指導医や患者さんとのコミュニケーションに問題のある学生が増えたような印象がある
- ・医師国家試験の合格を目指した、特に6年生での定期試験が非常に有用であったと記憶しております。
- ・院内での立ち居振る舞いや電話対応、メールの書き方、言葉遣いなど、社会人としてのマナー・常識を知らない人が多いと感じる。臨床実習に出る前など、適切なタイミングで、一般企業が新入社員研修として行なっているような一般的なマナー講座等を取り入れるのはどうだろうか。今どき、「医師だから(会社員ではないから)社会の常識を知らなくても仕方ない」は通用しないと思う。
- ・楽しい学生時代でした
- ・学生はすごい優秀なのでもっと遊んだ方が良い
- ・学生教育とは少し論点がずれてしまうかもしれませんが、COVID-19により現4・5年生がCC実習になじめていないと感じ、（恐らく指導を受ける機会がなく仕方ない事かとは思いますが）感染対策や病院施設内でのマナーがあまりできていないと感じます。（手指消毒がきちんとできていない、研修棟をはじめとするスペースで大声で私語をしたりゲームをしている等）この場を借りて一言かきそえさせていただきます。
- ・良いところ：熱心で優しい先生が多いです。
- 不足：他大の学生と比べると、後ろで見学しているだけの時間が多いようです。クリクラに来ている5年生が外科結びできなかったり。
- ・指導体制や熱量が各診療科・各病院で差がありすぎると思う。
- ・大半の上級医は後進育成の意識をしっかりとっており、そういった意味で不安を感じることは少ないと思われた。

【学外で研修したコメント】

- ・ 4 病院あって同じ診療科でも異なる教育になり、すべての学生が同じ研修を受けられないところがある。
- ・ 実習の時にもっと実践的な手抜を練習できる機会がある方がいいと思います。
- ・ 福利厚生が不足している
- ・ クリニカルクラークシップから医療者としての行動を考えさせると良い。見学だけではモチベーションが上がらない。紙面での課題だけではなく工夫があると良い。

【その他、本学の学生教育に関して、感じるがありましたら、お書きください。】

【学内で研修したコメント】

- ・ MECの口座全部見るのは現実的ではないので厳選してほしいです。サマライズと冬の補講はよかったです。

【学外で研修したコメント】

- ・ いろいろ多岐にわたって学ぶことができ良かったと思う。
- ・ 学則による禁止・束縛が多くいい人材が育ちにくい

令和2年度本学卒業（指導医）

評価項目	5:極めて優れている	4:標準以上	3:標準	2:やや劣る	1:劣る
1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナルリズム その時代における克己殉公の精神のあり方を自らの文脈の中で理解し、医療の専門家としての自覚と倫理観に基づいて行動することができる。（克己殉公の精神のもとに、日々自身の能力向上に努め・意欲的に自己研修を行っている。）（※克己殉公・・・我が身を捨てて、広く人々のために尽くす）	10	35	29	2	1
2. コミュニケーション能力 多様な立場や考え方を理解し、尊重し、共感力をもって他者と接するコミュニケーション能力を持ち、医療の現場における良好な人間関係を構築することができる。	/				
2-1. 患者やその家族とのコミュニケーション	12	35	27	2	0
2-2. 医療スタッフとの関係・コミュニケーション	14	39	19	4	1
2-3. 上級医との意思疎通・コミュニケーション	18	35	19	3	3
3. 統合された医学知識 基礎科学、基礎医学、行動科学、臨床医学、社会医学の知識をもち、統合した形で問題解決に応用することができる。	7	35	32	2	0
4. 患者の問題解決 （疾病の構造を理解し、社会医学や予防医学の視点を加え、患者の問題解決を考察できる）	5	34	34	3	0
5. 実践的診療能力 患者中心の視点に立ち、臨床研修現場において適切な診療を行う能力を獲得することができる。（身体診察や面接能力を含みます。）	8	38	27	3	0
6. 診療録記載	11	23	27	4	0
7. チーム医療における多職種との連携 （カンファレンス等のプレゼンテーション能力を含みます。）	10	39	23	5	0
8. 科学的研究心と思考能力 医学の進歩に関心をもち、科学的探究心を維持し、問題に対して論理的、批判的思考をもって行動することができる。	8	35	26	7	0
9. 人々の健康の維持、増進を通じた社会貢献 社会の現状を認識し、医療人の立場から人々が健やかに暮らせる社会の構築に努めることができる。（国民の健康に係わる情報収集、社会医療制度等の理解、地域医療等における社会貢献などについてお伺いします。）	7	29	34	6	0
10. 次世代の育成、教育能力 大学の教育、研究、医療における理念を次世代に受け継いで行く使命を認識し、チームにおけるリーダーシップを発揮しつつ後進の指導を行うことができる。	5	27	37	6	0
11. 豊かな人間性と国際性 人類と生命に対する「愛」を内包する豊かな人間性をもち、日本のアイデンティティを尊重しながら、広く世界に目を向け行動することができる。	5	28	36	6	0
12. 総合的臨床能力 1～11までの総合的な評価をお願いします。	10	38	24	5	0

【当該研修医についてコメントがあれば記載をお願いします。】

- ・何事も卒なくこなされていると思います
- ・1年の時に、1日何個は勉強した方が良いというアドバイスをしたが、それを1年以上維持し続けていることに感銘を受けました。
- ・2人の研修医で担当となった科では、多忙となると手抜きが多くなる。片方の研修医の負担が大きくなっていったようである。相手に対する配慮が欠ける。
- ・上級医に怒られたことに対してパワハラと言っていたので面接したが面接の前に労務所へ通報したのでそのあとの対応が大変であった。自己中心的な考え方なのかもしれない。
- ・周囲とのコミュニケーションも良好で診療に励んでくれています。
- ・当院の研修医の中では優秀である。
- ・報告・連絡・相談が適切に行われていた。
- ・平均以上と思われます。
- ・いずれの分野においても標準以上の能力を有している。
- ・礼儀正しく素直で頑張り屋さんでした。忙しい研修もしっかりとこなし、努力家でした。
- ・常に問題意識をもって取り組み、周囲に配慮しながら改善しようという気持ちがある。自己を高めようと努力しております。
- ・アクティビティに富んでいる ・積極的に学ぶ姿勢、後輩を指導する姿勢があり、研修医のリーダーをお願いしてます。
- ・研修開始当初から勉強熱心でコミュニケーション能力に優れ、知識、手技を修得し、成長が感じられる一方で謙虚な姿勢は変わらず、一人の医師として順調に成長しています。
- ・比較のおとなしく控えめで謙虚ではあるは実習は真面目にそつなく行い、群馬県の研修医2年目を代表して今年度1年目の研修医に対し研修のた体験談をプレゼンしている。
- ・真面目である
- ・多職種とのコミュニケーションが良くとれており、真摯に患者に向き合う姿勢がみられる。
- ・研修医のまとめ役を担ってます。積極性があり、優秀です。
- ・手術や病棟業務に積極的に取り組む姿勢は、医師の成長に大きく貢献すると思われます。
- ・誠実な人格が既に形成されている。
- ・いろいろな部門に興味があり意欲的に取り組んでいますが、興味が広すぎて、中途半端にならないか若干心配しています。
- ・極めてコミュニケーション能力が高い学生でした。
- ・他者と良好なコミュニケーションをとることが出来る。
- ・1カ月という短い期間ですが、外来と病棟で自分から仕事を探して働いてくれました。
- ・自己研鑽能力は高く、自分の現時点での能力を自分でしっかり把握している。上級医・多職種ともコミュニケーションはうまく取れているため素晴らしい。あ
- ・上手にアウトプットできていないところを改善すればさらにいいと思う。
- ・積極的に学ぼうとする姿勢を強く感じ教える側もやりがいをもって教えることができます。好循環が生まれ、他者にとっても好ましい空気を形成してくれています。後輩への指導も大変積極的で高く評価しています。
- ・研修には積極的に取り組んでいます。後輩の面倒見もよく、同級生の中でリーダーシップを発揮し、研修医や上級医からの信頼が厚いです。
- ・貴大学からの研修医は優秀な医師が多いと思います。今回も荻野医師も同様です。
- ・研修開始時点で美容外科を志望しており、将来像に向けて準備を進めている点は素晴らしいです。一方で、将来関わりを持たない領域については、学ぶ意欲が高くなく、初期臨床研修本来の目的を達しているとは思えません。
- ・とても熱心に診療されています。
- ・気遣いに長けており、チーム医療において特に力を発揮するタイプに思える。
- ・内に秘めた情熱を有し、非常に落ち着いた態度・姿勢で取り組んでいます。素の人格が優れており、良き医療者としての成長を日々感じます。
- ・総合的に非常に卓越した能力を持っており、臨床研修医として学ぶべきことを習得していると考えます。
- ・大変真摯な態度で積極的に研修されています。
- ・藤田医師は、コミュニケーション能力が高く、コメディカルや他科の医師とも連携を取ることが上手です。知識については幅広く持っていますが、臨床の現場で、こちらから少しきっかけを与えることで、引き出すことができるようです。
- ・患者さん、当院スタッフとも、挨拶はしっかりでき、良好なコミュニケーション取れるかたです。また、発熱外来時の消毒など、こちらからお願いすることもなく円滑に診療ができるように動いていただき、大変助かりました。
- ・コミュニケーション能力もあり、しっかり研修を行っている。
- ・向上心が強く、上級医や他職種の人とのコミュニケーションもしっかり取りながら診療にあたっている。
- ・手術には入ってくれています。カルテ記載や臨床での積極性は少し乏しいか、、、。
- ・夜遅くまで手術に積極的に参加してくれてありがとうございました。
- ・まだ場慣れしていないためか言葉数のやや少ない印象はあるが、落ち着いて病理診断に取り組んだいる。物事に対して適切に理解、把握する能力に優れており、安心して共に医療を行うことのできる研修医である。
- ・向上心と周囲との協調性のバランス感覚が非常に優れてると感じます。
- ・非常に積極的で周囲とのコミュニケーションも良好です。さらなる活躍を期待しています。

- ・研修開始直後にも関わらず優れた治療および患者、スタッフとのコミュニケーション能力を育てていた。
- ・良く勉強し、元気に研修に励んでいます。
- ・患者とのコミュニケーションはしっかり取れていると感じます。
- ・優れています

【研修医を指導されたご経験に基づき、特に本学の学生教育に関して、良いところ、不足している内容などございましたらお教えてください。】

- ・非常に礼儀正しく、周囲を明るく元気にさせてくれます。
- ・与えられた義務は早くなってほしい。要求できるのは義務を果たしてからという姿勢が欲しい。
- ・少なくとも善良であるコミュニケーション不足と判断する姿勢は全研修医で不十分
- ・バランスよく教育されているように感じます。
- ・既定の概念にとらわれない柔軟な発想をもつ教育が大切だと感じています。
- ・研修期間よりみられる考察力、コミュニケーション能力は学生教育で習得したものであろうと思われ、いいところと考えています。
- ・研修に向けての医療知識を身に付け、診療に向けての態度も真面目であり、上級医の意見も率直に聞く姿勢を持っている。
- ・コミュニケーション能力の高い方が多い印象です。大変助かってます。
- ・もう少し自己に厳しくあればと思う。
- ・病院の特徴に影響するところも大きいですが、比較的能動的に全ての科において興味をもって対応してくれる卒業生は増えてきていると思う。
- ・分院では日常業務が多すぎるため、学生教育に費せる時間が非常に少ないです。人員の確保、時間の確保が急務と思われまます。
- ・当該研修医のみで貴学の学生教育すべては理解できません。研修医すべてに言えることですが、マナー講習（言葉遣い、報告、連絡、相談など）や他職種の視点を卒前教育に組み込んではいかがでしょうか。
- ・良いところ、非常に常識的、礼儀に優れている。
- ・地域医療の実習の際には聴診器を持参するなどphysical アセスメントに重点を置く体制が望まれます。
- ・これまで来ていただいた研修医の先生皆さんまじめで謙虚に、積極的に研修されている印象です。
- ・日本医科大出身の先生たちは、温厚でコミュニケーション能力の高い研修医が多いと感じます。また、基礎的な医学知識はあるものの大学での研修で臨床に責任を持って行うというケースが少ないからか、当院での研修初めは自分で判断して鑑別を挙げたり治療方針の決定をしていくところが苦手な研修医が多いです。
- ・分からないところを質問していただければ、一緒に調べることでこちらにも勉強になることが多いです。
- ・特にないが、臨床の基準となる内科系の研修期間を長くとってもいい気がした。
- ・真面目でカンファやオペには参加している。積極的に手技を学ぶ姿勢やコミュニケーションの積極性がある方が望ましい。
- ・大学病院の特質上やむをえない部分もありますが、大学病院における研修医はやや責任感に乏しい印象をもちます。（本学卒業と関係があるかわかりません。）
- ・指導医にもう少し気軽に話をしてコミュニケーションを深めても良いかもしれません。
- ・教職員も熱心に取り組まれており、素晴らしいと思います。・国立大学出身の先生に比べて良い意味でおだやか、悪い意味で競争意識がやや低い方が多い。
- ・積極的でよく勉強する初期研修医が多い印象です。
- ・プレゼン能力不足。COVID-19の影響で実習が十分できなかったと思いますが、カンファや上級医への相談時に簡潔かつ要点をまとめて話す能力が不足している感じます。千駄木永山の研修医は救急外来を見る機会が少なく、救急外来対応に慣れていないように感じます。
- ・研修医とは全く環境が異なります。ワクチン接種しているのに今の対応では大した実習はできません。特に北総まで交通費をかけて。

【その他、本学の卒業生に関してお感じになったことがございましたら、お教えてください。】

- ・医師会などで接する貴大学の卒業生は立派な方が多いと思います。
- ・コミュニケーション能力に優れている。
- ・ネットで簡単に調べるだけの学科が多い論文に目を通すことが少なすぎる。
- ・コミュニケーション能力は十分にありますが、若干”言葉足らず”の印象があります。（当院研修医に関してです。）全体としては優秀な方が多いと感じています。
- ・貴大学卒業生はこれまでもみんな診療に対する姿勢が良いと思います。
- ・今後。将来を期待できる研修医です。
- ・当院がコロナ重点病院のため、一般症例が少なく大変申し訳ございません。
- ・優秀
- ・貴大学出身が決して多い訳ではありませんので、何とも言えません。

- ・全体的に人当たりの良い素直な学生が多いと思います。
- ・バランスの良い人格をもつ者が多い。
- ・皆積極的に診療に加わり、よく勉強していると思います。
- ・みんな分けへだてなく接しているのは素晴らしいと思うが、やはりみんなそうかもしれないが、ある程度できればもう大丈夫という雰囲気もよく見られる。
- ・卒業してからも学ぶ姿勢を保つことをお伝えください。
- ・何人か貴校卒業生の仕事をみておりますが、皆さん真面目に取り組まれている印象があります。
- ・努力家が多い印象
- ・優秀です。
- ・大変レベルが高いと存じます。
- ・大学での教育なのか、もともとの中高一貫校で育っているからなのか優しくて、コミュニケーション能力の高い医師が多いです。その一方で、狭い社会で育っているのか、生活保護の方や農村部、漁村部の人たちの生活にはじめて触れる医師が多いのも特徴的な気がします。
- ・コミュニケーション能力、人を思いやる心もち、利他的にも行動できる方が多いと思います。
- ・積極性が足りない研修医の先生が多めな印象があります。（逆に言うと協調性があると言えますが、、、）
- ・横のつながり縦のつながりがありよいと思いました。一方で甘えにつながることもありその点は悪い点と思います。
- ・COVID-19感染流行以降、学生、研修医ともに診察、患者プレゼンテーションなどの臨床能力が落ちたと思います。一方で勉強はよくしているため国試対策の講義にはついてこれるというバランスの悪さを感じます。
- ・同じ大学の卒業生として今後に期待できると感じました。
- ・総論的には素直な学生が多い印象をもちます。学究的な思考を持つ方も多いが、当科の専攻医も含めあまり興味を示さない方もおられるように感じます。
- ・プレゼンに苦手意識を持つ方が多い印象です。学生時代からグループ討論の機会が増えると良いのではと考えます。
- ・指示待ちの傾向。治療プランを自分で立案せずに上級医に頼り切ってしまうことが多いと感じる。

令和3年度本学卒業（研修医）

評価項目	5:極めて優れている	4:標準以上	3:標準	2:やや劣る	1:劣る
1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナルリズム その時代における克己殉公の精神のあり方を自らの文脈の中で理解し、医療の専門家としての自覚と倫理観に基づいて行動することができる。（克己殉公の精神のもと、日々自身の能力向上に努め・意欲的に自己研修を行っている。）（※克己殉公・・・我が身を捨てて、広く人々のために尽くす）	4	6	31	0	0
2. コミュニケーション能力 多様な立場や考え方を理解し、尊重し、共感力をもって他者と接するコミュニケーション能力を持ち、医療の現場における良好な人間関係を構築することができる。	/				
2-1. 患者やその家族とのコミュニケーション	1	9	28	0	1
2-2. 医療スタッフとの関係・コミュニケーション	1	10	25	3	0
2-3. 上級医との意思疎通・コミュニケーション	2	8	25	3	1
3. 統合された医学知識 基礎科学、基礎医学、行動科学、臨床医学、社会医学の知識をもち、統合した形で問題解決に応用することができる。	0	4	29	6	2
4. 患者の問題解決 （疾病の構造を理解し、社会医学や予防医学の視点を加え、患者の問題解決を考察できる）	0	6	29	5	1
5. 実践的診療能力 患者中心の視点に立ち、臨床研修現場において適切な診療を行う能力を獲得することができる。（身体診察や面接能力を含みます。）	0	8	23	8	2
6. 診療録記載	1	8	24	6	1
7. チーム医療における多職種との連携 （カンファレンス等のプレゼンテーション能力を含みます。）	1	6	30	3	1
8. 科学的探究心と思考能力 医学の進歩に関心をもち、科学的探究心を維持し、問題に対して論理的、批判的思考をもって行動することができる。	2	4	30	5	0
9. 人々の健康の維持、増進を通じた社会貢献 社会の現状を認識し、医療人の立場から人々が健やかに暮らせる社会の構築に努めることができる。（国民の健康に係わる情報収集、社会医療制度等の理解、地域医療等における社会貢献などについてお伺いします。）	1	7	29	3	1
10. 次世代の育成、教育能力 大学の教育、研究、医療における理念を次世代に受け継いで行く使命を認識し、チームにおけるリーダーシップを発揮しつつ後進の指導を行うことができる。	0	5	23	11	2
11. 豊かな人間性と国際性 人類と生命に対する「愛」を内包する豊かな人間性をもち、日本のアイデンティティを尊重しながら、広く世界に目を向け行動することができる。	2	9	27	3	0
12. 総合的臨床能力 1～11までの総合的な評価をお願いします。	3	5	29	3	1

【現在の臨床研修についてコメントがあれば記載をお願いします。】

【学内で研修したコメント】

- ・毎日勉強になることが多い。程よい仕事量と責任感、プレッシャーを感じるから楽しく研修しております。
- ・指導医の先生が密接に教えてくれる。
- ・先生方にご指導いただき、非常に充実した研修をさせていただいております。
- ・指導が丁寧であり忙しいながら充実しています。
- ・症例ないし検査を体系的に教わる機会が欲しいです。

【学外で研修したコメント】

- ・忙しすぎます
- ・楽しいです
- ・多くの手技などを経験をし、非常に内容の詰まった研修をしています。
- ・良いと思います。
- ・現状で良いと思います。
- ・カルテの使い方の説明書などがほしいです。聞きすぎると皆さんイライラし始めるので。
- ・科によって充実度の差が激しい
- ・順調です
- ・1年次がほぼ必修で埋まってしまうため、入局を決めるまでに興味がある科を回りきれないことに少し困っています。
- ・研修医に対する講義はもっとやるべきだと思う。
- ・充実しています。
- ・ピッチの範囲が狭く、電波が悪いので改善して欲しい。

【臨床研修を始めてみて、特に本学の学生教育に関して、良いところ、不足している内容などありましたらお書きください。】

【学内で研修したコメント】

- ・学生実習が不十分であると思いました。同じコロナ禍で実習をしてきた他大学の同期は様々な経験をつんでいて、日医卒の研修医よりスムーズに初期研修を始められていたように感じます。また、学生実習で様々な科の臨床現場を見学できなかったため、将来の進路を決めるにあたり、それぞれの科の具体的なイメージがわからず、初期研修の約1年半の間に決めるのは難しく感じます。
- ・臨床実習中に教科書の内容論文の内容を考察する機会は多くあり、とても勉強になりました。一方で、現場での診察や判断はコロナもあり、経験不足を痛感しております。
- ・研修医の数がそれほど多くないので手厚く指導いただけます。
- ・先生が教育熱心です。
- ・現状で良いと思います。
- ・現状で良いと思います。
- ・実習で学生に何もさせなかった結果が他校出身者と比べ露呈している。
- ・コロナ禍でも医療現場に出て、患者さんと接するクリニカルクラークシップを行うことが望ましいと思います。研修医になってからほぼ初めて患者さんと接することになり、かなり戸惑うことが多くありました。
- ・コロナの影響でCCが出来ていないので、不足を多く感じる。
- ・コロナ下で病棟に入れないことが多く、かなり限られた実習内容となり、研修医1年目から大変になります。
- ・学生講義は結構割と活きています。

【学外で研修したコメント】

- ・学生時代の臨床的な経験値が国公立卒の同期と比べて圧倒的に劣っていると思いました。
- ・処方箋等も含めてカルテをいじる機会が少なかった気がする
- ・カルテの使い方が分からず苦労したので、学生が気楽に見ることができるカルテが多いといいなと思いました。
- ・良いと思います。

- ・現状で良いと思います。
- ・学生の頃からもっと研修医がやることをやらせて欲しかった。国試の勉強は役に立たない。
- ・コロナの関係もありますが、臨床実習がかなり不足していました。
- ・長所：自分たちの時間をとれること 短所：コロナ実習で病棟に入れなかったこと。カルテを書く機会があまりなかったこと

【その他、本学の学生教育に関して、感じるがありましたら、お書きください。】

【学内で研修したコメント】

- ・自分自身も教える側により、学生のモチベーションを保つことの難しさは痛感いたしました。コミュニケーションを積極的にとり、何を学びたいのか何に興味があるのかをさぐって参ります。
- ・研修医と接する・教わる機会が欲しいです。

【学外で研修したコメント】

- ・学力は他大卒より身につけていると思います。
- ・良き
- ・他大学が比較的実習を行っていたのでコロナ禍の中でも実習できるようにしてあげてほしい。手技系は印象に残るので特にやれると良い。
- ・病棟実習がもう少し多ければいいなと思います。
- ・勉強に関しても過不足ありません。

令和3年度本学卒業（指導医）

評価項目	5:極めて優れている	4:標準以上	3:標準	2:やや劣る	1:劣る
1. 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナルリズム その時代における克己殉公の精神のあり方を自らの文脈の中で理解し、医療の専門家としての自覚と倫理観に基づいて行動することができる。（克己殉公の精神のもとに、日々自身の能力向上に努め・意欲的に自己研修を行っている。）（※克己殉公・・・我が身を捨てて、広く人々のために尽くす）	5	25	32	0	0
2. コミュニケーション能力 多様な立場や考え方を理解し、尊重し、共感力をもって他者と接するコミュニケーション能力を持ち、医療の現場における良好な人間関係を構築することができる。	/				
2-1. 患者やその家族とのコミュニケーション	8	19	32	3	0
2-2. 医療スタッフとの関係・コミュニケーション	7	31	22	3	0
2-3. 上級医との意思疎通・コミュニケーション	10	32	19	2	0
3. 統合された医学知識 基礎科学、基礎医学、行動科学、臨床医学、社会医学の知識をもち、統合した形で問題解決に応用することができる。	2	26	32	1	1
4. 患者の問題解決 （疾病の構造を理解し、社会医学や予防医学の視点を加え、患者の問題解決を考察できる）	2	21	35	2	1
5. 実践的診療能力 患者中心の視点に立ち、臨床研修現場において適切な診療を行う能力を獲得することができる。（身体診察や面接能力を含みます。）	4	22	32	3	1
6. 診療録記載	3	23	28	3	0
7. チーム医療における多職種との連携 （カンファレンス等のプレゼンテーション能力を含みます。）	3	29	29	1	1
8. 科学的探究心と思考能力 医学の進歩に関心をもち、科学的探究心を維持し、問題に対して論理的、批判的思考をもって行動することができる。	5	24	28	5	0
9. 人々の健康の維持、増進を通じた社会貢献 社会の現状を認識し、医療人の立場から人々が健やかに暮らせる社会の構築に努めることができる。（国民の健康に係わる情報収集、社会医療制度等の理解、地域医療等における社会貢献などについてお伺いします。）	2	17	39	4	0
10. 次世代の育成、教育能力 大学の教育、研究、医療における理念を次世代に受け継いで行く使命を認識し、チームにおけるリーダーシップを発揮しつつ後進の指導を行うことができる。	0	15	40	5	1
11. 豊かな人間性と国際性 人類と生命に対する「愛」を内包する豊かな人間性をもち、日本のアイデンティティを尊重しながら、広く世界に目を向け行動することができる。	3	18	37	3	0
12. 総合的臨床能力 1～11までの総合的な評価をお願いします。	4	26	30	1	1

【当該研修医についてコメントがあれば記載をお願いします。】

- ・真面目にいろんなことに取り組んでいるようです。上級医とのコミュニケーションもとれており、今後が楽しみです。
- ・フィジカルが良い。興味のある分野への探求心がありました。コロナで実習等での患者2人と触れ合う機会が少なかったかもしれません。
- ・やる気に満ちていて好感がある。議論が未熟という印象でした。
- ・患者との距離が近く親身に話を聴いている姿勢が好印象でした。
- ・非常に実直だと思います。
- ・明るい性格で、良きムードメーカーです。
- ・研究や発表分野の情報取得に敏感である。
- ・コロナ禍で臨床実習において生の患者さんと接する機会が少なかったでしょう。頑張っていたきたい。
- ・根が真面目なので堅実に成長していくと思います。
- ・コロナで大変な時期に学生時代を過ごし、患者・家族と接する機会が少なかったのだと思います。
- ・患者背景や心情について、想像力をめぐらしてコミュニケーションをとってもらいたいと思いました。やるべきことについてはきちんと把握し、努力していたと思います。
- ・当科（神経内科）への興味のレベルによるのでしょうか、積極性があまり感じられませんでした。ほかの科では違ったかもしれません。
- ・やる気に満ちていて、積極的に勉強している。教科書も借りて読んだり、手術ビデオを予習して手術に参加している。
- ・積極性に欠けるところがありますが真面目です。
- ・楽しく頑張っているようです。

・温和で誠実な印象です。患者さんやメディカルスタッフへの対応も穏やかで礼儀正しい

- ・医学知識不足、自分で考えることが苦手
- ・比較的自分で考えて行動できていた印象です。
- ・向上心があり積極的に診療に携わっている。スタッフとのコミュニケーションもよくとれており、良好な人間関係を構築している。
- ・目標意識を持ち、積極的に研修に取り組んでいます。
- ・とても真剣に取り組んでいる
- ・可もなく不可もなしです。
- ・人柄もよく、向学心にあふれた素晴らしい研修医であると思われます。
- ・看護師など多職種とのコミュニケーションに長け、チーム医療を行う上で必要な能力を持っている。
- ・周囲とうまく調和できる

・初期研修開始後3か月経過した時点での評価としては、人間性、知識、向上心等のバランスはよく、今後の成長が期待できるドクターだと感じます。後進の指導については評価することができませんでした。

- ・熱心ではあるが当然知識経験が足りない。そのため質問そのものを理解できないことがある。しかしそれにめげずに理解しようとする姿勢が見受けられる。
- ・現在当科研修中につき現時点の評価となります。・真面目に仕事を行っています。実習の経験が乏しいためか、手技（基本的な）等の知識が少ないように感じます。
- ・大変優秀で特に申し上げることはございません。
- ・大分改善はされたが社会人のマナーとしての言葉遣いが気になった。
- ・大変真面目に研修に取り組んでいます。
- ・研修に対して積極的に取り組んだいます。上級医のフィードバックを真摯に受け止め、次に生かしています。
- ・今のところそつなくこなしており、標準かそれ以上。能力のある方と思います。
- ・標準以上の知識、協調性を備えているように思われます。
- ・少し緊張のためか固い様子もありますが、真面目な態度の方が多いと思います
- ・初期研修医のレベルとしては到達しておりますがモチベーションに上下があります。
- ・よく勉強し、研修に励んでいます。
- ・病院実習で学んだことを生かしながら、自身にできることを日々考えながら研修生活を送っています。
- ・本学の卒業生であり、学生時代のこと、部活動のこと等の話題で円滑にコミュニケーションが取れました。
- ・体調不良もありながら積極的に診療チームに参画して研修していました。

【研修医を指導されたご経験に基づき、特に本学の学生教育に関して、良いところ、不足している内容などございましたらお教えてください。】

・コツコツと努力にひとつずつ物事を解決する姿勢は評価できると思います。もう少し積極的に自分から進んで難しいことにtryする姿勢は少し物足りない感じがします。

・日本医大出身の医師を数名研修医として教育して参りましたがコミュニケーション能力が高い（フレンドリーな）印象があります。

・午後までこのようにフォローされ、大切に学生教育に取り組まれていると感服致しました。

・オベ見学がコロナでできなかったと伺いました。 ・個人主義を重視しすぎている。

・性格がおとなしくその分のコミュニケーションは取りやすいです

・性格はいいドクターが多いと思います。

・積極性が足りないと思います。

・個人主義を重視しすぎている

・日々よく勉強し向上心を持って研修を行っていると思います。

・意欲のある研修医が多い。

・ここ数年実習が制限されていてよくわかりません。

・コロナ禍では卒前の実習などもなかなか難しい状況かと思えます。また労基法の制約なども加わって益々研修の の担保を積極的に考えていかなければならないと思っています

・残念ながらコロナの影響で学生時代に十分な臨床実習が行えなかったようですが、それを取り返すべく努力しています。

・診療参加型実習が実践される場面がまず少なく、見学型実習が多い。特にコロナ禍において、どの診療に参加していくか考えていなければならない。

・ほとんどの学生に自主性がない。特に臨床現場で患者と接しようとする姿勢を持ったものはごくわずかです。一方指示されたことはきちんとする。とはいえ十分かというところ…個人主義が大きく一概とは言えないが。

・真面目な人が多いような印象があります。積極性が少ないように感じます。

・手術助手として、不平不満を言わずに一人の医師として取り組んでくれる姿は大学での指導が奏したと思われれます。

・大学が開催する臨床教育Webコンテンツの充実を望みます。

・本学の卒業生に限った話ではありませんが研修医の労働時間管理の必要性が強調され過ぎてしまっている印象があります。十分な研修機会が与えられているか不安である。

・人当たりがいい方が多いのですが、接遇の面（あいさつや言葉遣い）でコミュニケーションが不十分に感じることもある。

・学会地方会での発表を始め積極的に経験を積もらしている姿勢が感じられます。実臨床において、所見のとり方やカルテ記載など努力の必要な点もありますが、日々改善していけると考えます。

・本学の卒業生が初期研修で付属4病院を選択してもらえる様、実習内容等工夫する必要があると思う。

・患者とのコミュニケーション機会の不足

・就労時間制約により自己研鑽の時間があるとのことだが、マニュアル本の知識に止まる印象です。指導医側にも問題があるかもしれませんが、、、

【その他、本学の卒業生に関してお感じになったことがございましたら、お教えください。】

・いろんな人がいる

・他分野との交流が必要。

・とてもいい先生が多いです。

・様々

・やる気なしに見えます。

- ・ 今後も研修医として受験して頂ければ幸いです。
- ・ 今後もこのような形で情報共有させていただきたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします
- ・ 積極性が見て取れます。
- ・ 基本、画一的である。
- ・ 素直で性格のいい卒業生が多い。
- ・ 総じて人懐っこいものが多い。なので当初コミュニケーションが乏しくても比較的早期にコミュニケーションの改善を行うものが多い気がする。
- ・ 私学年にある甘やかされた感じは研修中には感じませんでした。
- ・ 皆さんとても優秀です。
- ・ 周囲とコミュニケーションを取りながら日々業務に励んでいます。
- ・ 最近、個性的な方が減っている感じがします。
- ・ 真面目であること

- ・ 優しい、我が身を捨てて頑張る気迫・積極性は皆無